事務事業マネジメントシート

事務事業の概要・基本情報

市物市サク	ند	*** ** * * * * ***********************	会計区分	所管部署		学校教育課								
事務事業名	-	学校安全対策事業	予算科目	予算科目 10 款 1 項 3 目 教育費								子仪争	以月誄	
事業番号		4150	事業区分		政策的事業【任意】		□ 重	要事業	シート入力	R	4 年度	R 5	5 年度	R 6 年度
評価の種別	Į.	詳細評価	簡易評価(事業の	D概要・網	結果のみ)				所属長名		窪田	公	仲	谷仲
総合計画での	基本目標	生涯学習都市の創造							///周段石		Æ Ш	Н	TT.	шп
位置づけ	基本施策	学校教育環境の整備・充実							担当責任者		田中	Ш	中	山内
根拠法令等	地域ぐるみの学校安全を	体制整備事業、伊予市スクールガードリーダー記	受置要綱、伊予市スクール	レソーシャ	ャルワーカー設置要綱				ZZZZZZ		ш,		'	шт
1237-12-13		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			777 73 13 12 2 14 7									山内
関係する計画等									事務担当者					
	112 - 1	M. O.							_					
事業の目的	対象市内小・中	字生												
【ゴール】	辛丽 龄坎兀兀"	로 바 Branch Charles										平成		
目指すべき姿を簡潔に	意図 学校及び通	通学路の安全確保のため							事業開始年度	F			1 4	F度
事業内容									丁 未用如牛皮	2		令和		
争乗り合 【 アクティビティ 】											※会供前	からの継続	事業は巫成	17年度と入力
	地域ぐるみの学校安全を										мыль.	الاانتقاد (17	17×16 1 ///	17年及こ八万
具体的な内容、 どのような方法で	○スクールガードリーダー 	-による学校巡回指導、スクールソーシャルワーカ	-の学校派遣による相談	支援					事業終了年度	Ę		令和	ź	F度(予定)
実施しているのか									(予定)				2	設定なし
事業の実施方法	□ 直営	□ 一部委託 □ 🖆	全部委託 □	指定	定管理 🛛	補助金・	負担金等	□ ₹)
	ロ あり(以	【下に記載すること) 🛛 🛣 なし												
	事業番号	事務事業の名称				事	務事業の概	要						
連携事業及び													【連抄	馬事業 】
関連事業の有無													一体的に実	施している事業
														車事業】
														深い事業
	ロ ゴール1	貧困をなくそう	ローゴール		エネルギーをみんない		-ンに				かに具体的	な対策を		
本事業とSDGs	ロ ゴール2	飢餓をゼロに	□ <mark>ゴール</mark>		働きがいも経済成長も						さを守ろう			
(持続可能な開発目標)	ロ ゴール 3	すべての人に健康と福祉を	ロゴール		産業と技術革新の基盤をつくろう					さを守ろう	- 1 -			
との関連性	□ ゴール4	質の高い教育をみんなに	ロ ゴール		人や国の不平等を						正をすべて			
	ロ ゴール 5	ジェンダー平等を実現しよう							ゴール17	バートナー	ーシップで目	標を達成	えしよう	
	ロ ゴール6	安全な水とトイレを世界中に	ロ ゴール	ロ ゴール12 つくる責任つかう責任										

【評価年度: 令和 7 年度】

削凹評価の振返り					
評価年度	事業遂行に係る課題・改善点		課題解決に向けた具体的な方策等		左記に対する対応状況
令和 4 年度					
最終判断		\Rightarrow		\Rightarrow	
重点化					

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳(千円)

事	美賀	100	小訳

予算?	額・執行額及び財源内記	兄(十円)				事業費の内訳							
	項 目	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求		節	細節		事業費	(千円)		摘 要
	当 初 予 算	1,113	1,132	1,861	2,015		니크	が田民口	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求	※代表的なものを簡潔に
予	補正予算	0	0	0	0		幸長酉州	会計年度任用職員報酬	479	501	1,216	1,225	
算	前年度から繰越	0	0	0	0	例	報償費	報償費	251	249	234	282	
77	予 備 費 等	0	0	0	0	年	旅費		90	77	164	215	
	計	1,113	1,132	1,861	2,015	文山	需用費	消耗品費	27	20	20	32	
決	執 行 額	988	1,064	1,866		日 (役務費	手数料	25	25	25	40	
算	翌年度へ繰越	0	0	0		あ	使用料及び賃借料		101	177	192	221	
п+	国庫支出金	151	138	211	211	る	負担金・補助及び交付金	負担金	15	15	15	0	
財源	県 支 出 金	225	212	359	359								
内	地 方 債					0							
訳	その他												
ы/ С	一般財源	612	714	1,296	1,445								
	執行率(%)	88.8%	94.0%	100.3%		時的							
	リ予算+補正予算に る執行額の割合(%)	88.8%	94.0%	100.3%		りなも							
Ī	E規職員の人工数	0.46	0.46	0.46		o o							
1人	L当たりの人件費単価	7,794	7,765	7,895			上記以外の事	業費合計					一般事務費、上記で書き表せないもの
*	執行額+人件費	4,573	4,636	5,498		事業費の総計		総計	988	1,064	1,866	2,015	

事業活動の実績【アウトプット】

		活動実績の達成度を測る指標	単位	目指す 方向性	R 4 <u>目標</u> 実績	R 5 <u>目標</u> 実績	R 6 目標 実績	達成度		令和 4 年度の振返り	令和 5 年度の振返り	令和 6 年度の振返り	
	指標	スクールガードリーダー訪問回数		7	39	39	39	目標達成	活動	コロナ禍ではあったが、各学校の協力を得て、「いじめSTOP会議」を	スクールガードリーダーには、各校の	スクールガードリーダーには、各校の 見守り活動の充実に向け、教職	
	1	777 777 1 7 BOILDINA			39	39	39	(100%以上)	果	また、スクールソーシャルワーカーの		いた。スクールソーシャルワーカーの	
活	指標	スクールソーシャルワーカー訪問回	日	7	115	115	230	かなり達成	課	ニーズが高まってきていることに伴い、財政課とも連携することで、一定の訪問回数を確保することがで	ワーカーにおいては、実態に応じて	増員により、安全安心な学校づくり が推進された。今後、児童生徒の 多様な課題解決に向け、人員の	
動指	2	数			101	101	230	(80%以上)		きた。	条釈に対応し成素を上りた。	を受ける。 を関わたい。	
標	指標								課題				
	3					の シャルワーカーの増員		シャルワーカーの増員を視野に入	シャルリーカーの増育を視野に入	スクールソーシャルワーカーの増員、 勤務時間の確保に向け、人材や			
	指標								改 れ、人材や予算の確保に取組む 善必要がある。		れ、人材や予算の確保に取組む 必要がある。 予算の確保に取組む必要		
	4								提案				

事業活動の成果【アウトカム】

	想定される事業活動の成果	活動成果の達成度を測る指標単位	目指す 方向性	R 4 目標 実績 R 5 目標 実績	R 6 目標 実績 達成度	左記の指標が設定できない場合は、事業実施によって 評価期間内に発現した定性的な成果を記入
成	長 期 成 果	指標 事故報告(死亡事故) 件	→	0 0	0 目標達成 (100%以上)	
果 指 標	長 期 相談件数の増加 成 要対応家庭数の減少 果	指標 全欠の児童生徒数 人 ②	→	- 0 - 2	2 未達成 (50%未満)	
		指 標 ③				

事務事業の評価

事務事業	砂評価									
			目的の妥当性	4 上位施策の達成に不可欠な事務事業であり、事業の目的を見直す必要はない 3 上位施策の達成に必要な事務事業であり、事業の目的を見直す余地が少ない 2 上位施策の達成に必要な事務事業であるが、事業の目的は検討の必要がある 1 上位施策の達成に向け、事業の目的は見直しが必要である	4		平価点ランク 11 ~ 12		事業遂行に係る工夫点・事業成果	
		妥当性	市民・社会ニーズへの対応	市民ニーズ・社会ニーズの有無に関わらず、実施する必要がある 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが現状維持傾向にある、又は、市民ニーズ・社会ニーズが現状維持傾向にある、又は、市民ニーズ・社会ニーズが限定的である 市民ニーズ・社会ニーズが減少傾向にある、又は、市民ニーズ・社会ニーズが関策である	3	A B	9 ~ 10 7 ~ 8	Α	市内小中学校の児童生徒に、安全安心な学校生活と、多様な 学びの場を提供するために、スクールガードリーダー(SGR)及び スクールソーシャルワーカー(SSW)との連携により成果を上げ	
	自		サービス主体の 妥当性	4 本事業は市が直営で実施すべきものである 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、適切に導入している 2 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、導入の範囲に検討の余地がある 1 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきだが、導入できていない	3	C D	5 ~ 6 3 ~ 4		た。	
所管	己		成果指標の 達成状況	4 目標を上回って達成できた (100%以上の達成) 3 概ね達成できた (80%以上の達成) 2 やや達成ができなかった (50%以上の達成)	4		平価点ランク 11 ~ 12		事業遂行に係る課題・改善点 児童生徒を巻き込む事件・事故はいつ、どこで発生してもおかくな	
にお	判	有効性	成果向上の 可能性	1 達成できなかった (50%未満の達成) 収に相応の成果を得ているが、今後も成果向上の余地がある 3 成果向上が期待でき、事業継続の必要がある 2 成果は低調であるが、手法等の改善によって成果向上の余地がある 5 今後の成果向上は見込めない	4	A B	9 ~ 10 7 ~ 8	s	い状況であるため、SGRによる通学路や校内の巡回、安全体制への評価、助言、指導は必要不可欠となっている。また、児童生徒を取り巻く問題は多様化・複雑化しており、ケースに応じてSSWは迅速、適切に対応する必要がある。そのためには、優秀な外部人材を確保することが重要であり、それに伴う予算の確保等も必要となる。	
ける	定		市民等への影響	4 本事業がなくなると、不特定多数の市民・団体等に重大な影響がある 3 本事業がなくなると、特定の市民・団体等に重大な影響がある 2 本事業をなしても、市民・団体等への影響は少ない 1 本事業をなしても、市民・団体等への影響はほとんどない	3	C D	5 ~ 6 3 ~ 4			
務	~_		手段の最適性	4 現状では最善の手段であり、他の手段を検討する必要はない 3 他の手段もあるが、現状の手段が望ましく、改善の必要性は低い 2 現状の手段が望ましいとは言えないため、他の手段も検討すべきである 1 現状の手段ではなく、他の手段に変更すべきである	2		平価点ランク 11 ~ 12		課題解決に向けた具体的な方策等	
事業の		効率性 コストの	コストの最適性	コストの削減・効率化の成果により、これ以上、改善の余地はない コストの削減・効率化を適切に進かており、改善の必要性は低い コストの削減・効率化に努めているが、成果が十分ではないため、積極的な改善が必要である コストの削減・効率化に努めているが、成果が十分ではないため、積極的な改善が必要である	3	A B	9 ~ 10 7 ~ 8	Α	SGRについては、警友会(警察OB)から推薦いただいた方を委嘱することで適任者の確保に繋げたい。 SSWについては、現状の勤務時間日数の拡充により、不登校児	
評価	担当者		受益の適正性	 事業の性質上、受益者負担を求めるものではない 公平なサービスを提供し、適正な受益者負担を求めている ある程度の公平なサービスを提供しているが、受益者負担には見直しの余地がある 対象者に偏りがあるなど公平なサービスとはいえない、又は、ある程度の公平なサービスを提供しているが受益者負担をしていない 		C D	5 ~ 6 3 ~ 4		童生徒への対応をより一層充実させたい。	
		自己	判定結果の確定	□ 上記のとおり自己判定を確定し、本結果を踏まえて以下のとおり貢献度・重要度を判定します					所属長の所見	
	一 次 判 定	貢献度		S 市政全体の成果向上に与える影響が、非常に高い事務事業 A 上位施策の成果向上に与える影響が、高い事務事業 B 上位施策の成果向上に一定の影響をもつ事務事業 C 上位施策の成果向上に直接的な影響は誤い事務事業 D 当初位置付けた必要性が薄れており、事業推進が明待できない事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む S 市政全体からみても、重要度が非常に高いと判断される事務事業 ※自然災害等の緊急事態に対応する事務事業も含む	判定区	S A B	非常に高い高い	S	家庭環境の問題の多様化、複雑化(SSW関係)や、見守り 隊ボランティアの減少や児童数の減少による班通学の限界地域 の増加(SGR関係)など、子ども達を取り巻く課題は増加してお	
	所属長		重要度	日	分	C D	低い 非常に低い	S	の音加(SGRI気候)など、子とも達を取り含く課題は音加しており、安全安心な学校生活の維持のために重要な事業と考える。	